

インフルエンザが過去最多に！昨年同時期の4.5倍！！



県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗5,887	4,578	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↗ 57	55	ヘルパンギーナ	↘ 3	7
咽頭結膜熱	↗ 23	18	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↘ 11	44
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗ 65	54	急性出血性結膜炎	↗ 1	0
感染性胃腸炎	↘ 531	604	流行性角結膜炎(はやり目)	↘ 4	13
水痘	↘ 36	57	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↘ 21	24	無菌性髄膜炎	↘ 0	3
伝染性紅斑(りんご病)	→ 2	2	マイコプラズマ肺炎	↘ 0	1
突発性発しん	↘ 28	29	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↘ 0	1

インフルエンザ
報告が多い感染症

感染性胃腸炎
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

感染性胃腸炎 : 有明、山鹿、菊池
インフルエンザ : 熊本市、有明、山鹿、菊池、阿蘇、御船、宇城、八代、水俣、人吉、天草
咽頭結膜熱 : 菊池

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
熊本市保健所	1,500	13	3	19	68	10	9	1	11	0	0	2	1	4					
山鹿保健所	198	0	0	0	83	0	0	0	4	0	0	0*	*						
菊池保健所	657	13	17	21	115	6	1	0	6	0	0	0							
阿蘇保健所	121	0	0	1	13	0	0	0	0	0	0	0*	*						
御船保健所	217	0	0	0	38	0	0	0	0	0	0	0*	*						
八代保健所	585	16	0	4	38	0	0	0	3	0	0	0							
水俣保健所	62	2	1	0	12	0	0	0	2	0	0	0*	*						
人吉保健所	486	4	0	6	30	0	6	0	0	0	0	9*	*						
有明保健所	627	3	1	2	70	15	3	0	1	0	0	0							
宇城保健所	674	6	1	8	38	1	1	0	1	0	0	0*	*						
天草保健所	760	0	0	4	26	4	1	1	0	0	3	0							
計	5,887	57	23	65	531	36	21	2	28	0	3	11	1	4	0	0	0	0	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	5,887	35	69	268	306	290	301	333	392	335	346	302	995	230	225	397	334	268	170	117	174
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	57	7	9	26	9	5	1														
咽頭結膜熱	23		2	4	8	3	1	2					2		1						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	65		1	1	4	6	15	10	6	5	7	4	3		3						
感染性胃腸炎	531	6	25	78	54	34	25	19	42	27	16	27	78	25	75						
水痘	36	1	2	7	5	9	5	1	1	1	2	1		1							
手足口病	21			6	3	8	3			1											
伝染性紅斑	2			1																	1
突発性発しん	28	1	10	17																	
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	3				3																
流行性耳下腺炎	11				1	1								1							
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	1																				
流行性角結膜炎	4														1		1	2			
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	0																				
マイコプラズマ肺炎	0																				
クラミジア肺炎	0																				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0																				

インフルエンザが過去最多に！
より一層の感染予防対策を

今週のインフルエンザの患者報告数は、5,887件となり、現在の80の定点医療機関数で調査を開始した平成17年以降、最多の報告数となりました。(これまで平成17年の5,880件が最多) 県全域で警報レベルを超えており、特に、宇城、天草では大流行となっています。水俣を除く地域で増加が続いており、流行のピークが近づいていると思われますので、より一層の感染予防対策に努めましょう。



インフルエンザの予防対策

1. 手洗い
流水や石けんでの手洗いは、手指についたウイルスを流し落とす効果があります。ただし、洗いやすすぎが不十分だとウイルスを完全に除去することができません。意識して長めに手洗いを行いましょう。指先・手首・指の付け根は、特に丁寧に洗いましょう。手洗いの後にアルコール消毒を行うとより効果的です。
2. 咳エチケット
咳やくしゃみは他の人に向けないようにしましょう。また、咳やくしゃみがでる時は、できるだけマスクをつけましょう。手のひらで受け止めたときは、すぐに手を洗いましょう。マスクは、感染者がつけたほうが、感染予防効果は高いと言われています。

